

# 府障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## 2016府労組連 夏季闘争終結

6月20日、府労組連・大阪府関連労働組合連合会(夏)は、夏季要求の実現をめざして午後3時から人事局長との団体交渉を行いました。夕刻には大阪城公園教育塔前広場で決起集会が開催され、参加者は府庁周辺をデモ行進しました。その後行われた交渉で、総務部長は府労組連に対する最終回答を行いました。

### 府当局

「人事委員会の勧告は基本的に尊重する」

府当局は、団体交渉での回答で、人事委員会の勧告は基本的に尊重する(月例給引上げ見送りは)大変心苦しく思うとの考え方を繰り返し述べ、府労組連の追及に対して、今後大阪府の財政状況について必要に応じて説明すると答えました。

知事部局では、人事評価制度について職員の見解を聞くためのアンケートが実施されています。今季の団体交渉では、教職員の評価・育成システムについても、制度の検証のために、職員アンケート実施に向けて研究するとの考え方が示されました。

また、仕事と家庭の両立支

### 府当局

「本気になって時間外勤務の縮減にとりくむ」

過労死ラインを超える違法な時間外労働が増え続けている実態は、府当局の責任が問われる重大な問題です。今季の闘争では、異常な長時間労働の実態について徹底的に追及し、府当局は「サービス残業はあつてはならない」7月8日を時間外勤務縮減強化月間とする「本気になって時間外勤務の縮減にとりくむ」と回答せざるをえませんでした。

引き続き教職員の定数増など、長時間過密労働の解消に向けた実効ある措置を求めていくことが重要です。

また、行政職2級3級の最高号給滞留の解消、再任用職員の賃金水準の引上げ、看護師等非正規職員の待遇改善、「教育に穴のあく」事態の解消、子育て支援制度の拡充、セクハラ・パワハラのみ未然防止などの要求も切実です。府障教は、大教組・府労組連に結集し、これらの実現に向けて全力で奮闘します。

### 【今季闘争における総務部長最終回答】

夏期一時金(ボーナス)を6月30日に支給

夏期一時金支給月数

職員	2.025月
新規採用職員	0.6075月
再任用職員	1.025月

「評価制度」の給与反映のための原資として、全教職員の勤勉手当から一律に0.03月(再任用職員0.014月)分が引かれます。また、評価結果によって勤勉手当の支給率が変わります。

早出遅出勤務について

30分早出の勤務パターンを導入

「保育所等への送迎」要件を「子を養育するため」に拡充  
評価育成システム「職員アンケート」の実施に向けて研究するとの考え方を示す

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/>

Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



6月19日、元米海兵隊員による女性暴行殺人事件を受けて、被害者を追悼し、海兵隊の撤退を求める県民大会が那覇市内の陸上競技場で開かれ、炎天下にもかかわらず約6万5千人が参加しました。

多くの参加者は黒い服装に身を包んで黙とうし、犠牲となった女性を悼みました。日本の国土の約0.6%にしか過ぎない沖縄には、日本全国にある在日米軍の専用基地が面積で約74%集中しており、沖縄県面積の10.4%を米軍基地が占めています。戦後70年を過ぎ、沖縄が日本に復帰してから40年以上経過する中、女性や子どもが犠牲となる事件が繰り返される背景には、こうした実態があります。

あいさつした翁長知事は、21年前の少女暴行事件にも触れながら、政治の仕組みを変えることができなかつたことは政治家として痛恨の極み」と述べ、海兵隊の撤退・削減を含む基地の整理・縮小に取り組んでいくと、海兵隊撤退に県政としてとりくむ考えを初めて示しました。また、県民大会の決議は、日米両政府は「綱紀粛正」「再発防止」を徹底するとしてきたが、実行されたためしは無いとし、「もはや基地をなくすべきだ」との怒りの声はおさまらない」と強調しています。

安倍首相は、オバマ大統領に対して米軍基地の撤去を求めるところか、在日米軍の特権的地位を定めた地位協定の見直しにさえ言及していません。それどころか、名護市辺野古での米軍新基地建設をあくまで進める態度です。日米両政府のこつした姿勢を転換させ、基地のない平和な沖縄を求める運動が求められます。

# 府障教定期大会発言ダイジェスト(その5)

## すべての人が明日を安心して暮らせる社会を

臨対部 小島代議員



本日の平和って何でしょう。ある臨時教職員

採用試験に合格すれば本当の先生なのでしょうか。臨時教職員の方は採用試験の勉強を続けながら、日々教材を考えたり、会議の資料を作ったりしています。現場では年々仕事に追い立てられているように感じます。採用試験の結果は、あなたの勉強が足りなかった」といふ言葉で済まされるものではありません。教諭の皆さんもぜひもう一度教職教養を共に学習して原点に立ち、「めざとも」などで面接官役となって、臨時で働く方の思いに耳を傾けてください。

今年度、4月2日付け以降に採用された多くの臨時教職員の給料が支払われず、5月の給料と一緒に支払われるというところになりました。未だに保険証をもらっていない方もいます。来年度からは、市障教とも一緒に協力して、こ

## みんなができる分会活動

堺聴覚支援学校分会 玉城代議員

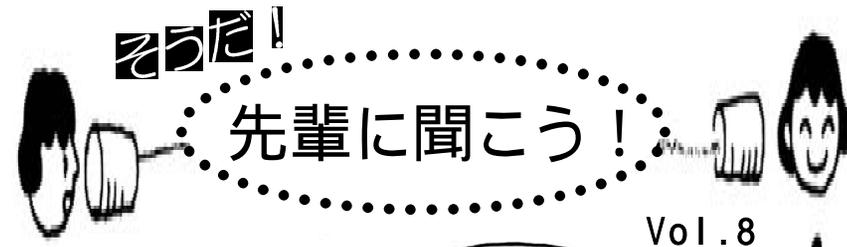


堺聴覚支援学校では、3月31日から、新転任 大丈夫だ よー！ランチパーティーの準備が始まりました。4月1日には分会長と青年組合員が

6名の初任者を迎えに行きました。そして、ランチパーティーは人が人を呼び声かけあって30名を超える参加者で大盛況でした。新転任者を歓迎して、新年度を安心して、明るくスタートしよう！という気持ちもコラボして、私も何か手伝わせてください」という人たちが次々と協力してくれました。始業式が行われた4月8日にはお弁当を注文して、第二

弾の「新転任」大丈夫だ よー！ランチパーティーをしました。この企画では参加した組合員それぞれから組合の紹介をもらいました。4月23日は、青年部主催のバレーボール大会の会場校として、ガンガンチームとゆるゆるチームの2チームで参加しました。日々の仕事に追われながらも、当日に向け17時半から18時まで体育館に集まり、青年中心に練習で汗を流しました。

年度末の人事異動の時期から、教育実践、憲法集会まで16号の「堺ろう学校分会ニュース」を発行・配布しました。うれしいことに「組合をやめたい」と言っておられた方が残ってくださることにになりました。それに加えて、初任者を含めて5名の仲間が新たに組合加入を決意してくれました。分会が職場で組織的に活動することで、誰もが成長できる」ということを実感しているところです。



「日の丸・君が代」は、なぜだめなんですか？  
匿名 青年教職員

「日の丸・君が代」の争点は、歴史的背景、思想・良心の自由、教育権の主体論(国民的教育権と国家の教育権)、教育と命令(強制)に大別できると考えます。今回は、紙面の都合上、について述べます。

「命令(強制)」は「服従・屈服」を求め、相手に精神的苦痛を与え、「思考停止」に追い込むところが「体罰」に似ています。

教育では、教員が正しいと考えることでも、それを子どもに強制すると、教育の反対物に転化すると私は考えます。それは、教師の役割を「子どもを独立した人格として認め、その身体・生活・人生において自らが主人公に成長していくことを後押しする」ことだと考え、教育は「納得と合意」に基づき成り立つと考えるからです。

「服従・屈服」を求める論理に、相手を独立した人格として尊重する論理は存在しません。

一方、「命令(強制)」は組織の在り方との反論もあるでしょう。しかし、子どもを「育ちの主体」として受容するために、教師も「育ちの主体」として生きることが重要です。「命令と服従」の関係で、教師が主体として生きる実感を持つことは不可能です。また、教育行政が教師に「服従・屈服」を迫る道具として、「日の丸・君が代」は利用されているとも言えます。

以上から、「日の丸・君が代」の教育問題のひとつに、「強制・押しつけ」があるというのが私の主張です。「教育と命令(強制)」について、みなさんは自らの教育哲学に照らして、どのような答えを出しますか？

(田崎尚弘 藤井寺支援学校分会 30年目)

